

日本アーカイブズ学会 2019 年度大会開催概要

【期日】2019 年 4 月 20 日（土）・21 日（日）

【会場】学習院大学 南 3 号館

〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1

（JR 山手線目白駅下車）

【参加費】会員 500 円、非会員 1,000 円

【事前申込不要】

【プログラム】 ※タイトル、時間、会場等は変更となることがあります。

4 月 20 日（土） 受付開始 12:30

○総会 13:00～15:00 *会員の方のみが参加できます

○講演会 15:30～16:30

松岡資明（元日本経済新聞記者）

「アーカイブズ取材で見た日本の病理」

○懇親会 17:00～19:00（会場：輔仁会館 1F、会費：一般 5,000 円、学生 3,000 円）

○賛助会員出展 13:00～16:30

4 月 21 日（日） 受付開始 9:00

○自由論題研究発表会 9:30～12:20

【第 1 会場】

オープンソースを用いたアーカイブズ資料情報提供システムの構築過程と課題：AtoM を事例に／金甫榮

アーカイブズ構築のプライオリティとは何か：デジタルアーカイブに関わるスリムモデルからの投げ返し／福島幸宏

認証連携を利用したデジタルアーカイブシステムのアクセス制御の取り組み／五島敏芳・戸田健太郎・高田良宏

デジタル時代にアーカイブズ機関が果たす役割とは：西オーストラリア州アーカイブズの組織改編を事例に／大木悠佑

デジタル・マニユスクリプトの段階的整理：BitCurator と Archivematica による対応策／橋本陽

【第 2 会場】

中華人民共和国におけるアーカイブズ学教育の始まり／柳町茂一

ウォーターゲート事件の遺産：アメリカ大統領記録の管理をめぐって／平野泉

事例研究：米国の州公文書館と民間アーカイブズ — 「普及」（利用の促進・連携）等についてのインタビュー事例を中心に／浅野真知

アメリカ州立公文書館における財源確保と基金助成：イリノイ州の事例を中心に／元ナミ

【第 3 会場】

被災自治体における公文書管理の現状と課題：福島県富岡町を事例に／牛来樹璃・白井哲

哉

葉害スモン関係資料の公開と利用の可能性：法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズ所蔵資料を事例として／川田恭子

茶道関連記録の利用促進に向けた検索手段の整備：幽清会川浪家文書を事例として／中村友美

まんが関連ミュージアムにおけるアーカイブズ資料の管理・利用と専門職の役割／蓮沼素子

【第4会場】

写真家資料の資源化とその活用に向けた課題：比嘉康雄資料の整理・保存を事例に／高科真紀・小屋敷琢己・阿久津美紀・山永尚美・秋山道宏

行政組織で作成された動的映像資料についての一考察：科学映画『しんかいー潜水調査船の記録ー』を事例として／山永尚美

企業アーカイブズ目録に消滅部門情報を反映させる試み：資生堂企業資料館収蔵「企画部」資料の分析とアーカイバル記述を通して／清水ふさ子

建築レコードを整理するための「万国共通のアプローチ」とはなにか：ユネスコ（1986）とICA（2000）との活動分析から／齋藤歩

○ポスター研究発表 12:00～13:00、12:30～13:30

米国のミュージアム・アーカイブズの多様性：『ミュージアム・アーカイブズ』掲載写真資料の著作権交渉から／筒井弥生

○大会企画研究会 14:00～17:00

- ・テーマ：「社会が求めるアーカイブズ」
- ・報告1「社会的養護に関する記録管理：ケアリーヴァーにとっての記録とは」
阿久津美紀（目白大学人間学部児童教育学科）
- ・報告2「記録を残し公開することの意味：旧優生保護法、ハンセン病の記録を題材に考える」
薄井達雄（神奈川県立公文書館資料課）
- ・コメント
岡村正男（エリザベス・サンダース・ホームOB会 副会長）

○賛助会員出展 9:30～15:30

【問い合わせ先】

日本アーカイブズ学会事務局

〒105-0004 東京都港区新橋 1-5-5 国際善隣会館 5階

E-mail：office@jsas.info HP：http://www.jsas.info/